

TAMIAS

くまもと県振連だより ータミアスー

KUMAMOTO FEDRATION OF SHOPPING CENTER PROMOTION ASSOCIATIONS

1
JANUARY 2019
VOL.64

下通餅つき大会

開催日：平成30年12月27日(木)
場所：下通アーケード内



「タミアス」はギリシャ語で「店主」の意味。
「くまもと県振連＝熊本県商店街振興連合会」
は店主の元気をつくる組織です。

CONTENTS

- 鋼羽会長新年挨拶 …………… 1
- くまもと商店街の日 実施報告 …… 2
- スマホdeスタンプin下通 …………… 2
- 下通繁栄会 肥後のつりてまり …… 3
- 下通deハロウィーン …………… 3
- 子飼商店街シャッターアート大作戦 …… 4
- 10,000歩ご利益ウォーク …………… 4
- 恋旅 火の国神話の巡礼について …… 5
- 通町とれたて軽トラ市について …… 5
- 八代妙見祭について …………… 6
- 八代港をとりまく環境について …… 6
- DMOやつしろの活動について …… 7
- 九州沖縄地区連絡会議 …………… 8～9
- 健軍健康フェア&よかもん市 …… 9
- いってみなっせ! …………… 10
- これよかばい! …………… 10
- お元気ですか商店街 …………… 11

新年のご挨拶



熊本県商店街振興組合連合会 会長 鈕羽 逸朗

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては新春を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、日本経済は大規模な日銀の金融緩和による円安・株高や2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックに向けた設備投資等により、大企業を中心とした企業の業績が改善すると同時に自然災害の多発も影響し、高度成長期の「いざなぎ景気」を超え景気拡大は戦後最長記録と並んだ可能性が高いと昨年12月内閣府から認定されました。

しかし、実感としては失われた30年という言葉が示す通り、国内総生産(GDP)の伸びは平均1%前後で期待されるほど消費は伸びず、好循環が図られているとはとても言い難いと思っております。

世界経済においても米中貿易摩擦の問題他、不安材料を数多く抱えるなか、国内での少子高齢化による人口減少問題や、社会保障に必要な費用の増加、労働力の減少など、現在の経済規模を支えることさえ今後難しくなると予想され、全世代の方々に不安が広がり消費の拡大に繋がらず、今後も商店街は厳しい状況が続くのではないかと感じています。

さらに、ネット販売利用者の増加や郊外における売り場面積の増加、加速する技術革新等に加え、本年10月には消費税増税を控えており個店においては、駆け込み需要、増税後の買い控え等の不安定な対応が懸念される他、軽減税率による混乱も業種によっては予測され大きな不安材料となっております。

この様な状況の中、県振連として基盤を強化し発展性を持たせるため、県内の努力されている商店街振興組合以外の各市町商店街と連携を図る組織として、県振連内に「熊本県商店街活性化協議会」を立ち上げるため現在正副会長を中心に12市町に説明を終えたところです。

また、本年第50回通常総会を迎えるにあたり、6月13日の通常総会後に新元号の元、創立50周年記念式典を挙げる計画となっており、節目の年として次世代に繋げて行きたいと思っております。

ご承知の通り「熊本地震」後、商店街の復興なくして「まち」(地域)の復興なしと言われました、商店街は買い物の場だけではなく「まち」の顔であり地域コミュニティの核であることを再認識すると同時に、誇りを持って商店街運営に携わって行かなければと感じた次第です。

県振連として、本年も各商店街に貢献出来るよう確りとした目標を定め、役員一丸となり様々な事業に取り組みでまいりたいと考えております。

今後も尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に関係者の皆様にとって最高の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

第7回

くまもとと商店街の日

実施報告



県振連 総務委員長 田原 誠也

お世話になります。総務委員長の田原です。

「商店街の日」事業は今年7回目を迎えました。私は3回目の担当でしたが、委員会メンバーはじめ皆様のご協力により、無事終了することができました。御礼申し上げます。

今回も補助金なしということで若干景品が少なくなりました。告知は予算範囲内で新聞朝刊に掲載しました。

しかし、一人につき一回の応募の広報の徹底が効いたのでしょうか。景品数が減ったからなのか、原因はわかりませんが申し込み枚数自体は、昨年より減少してしまいました。今回は約11,645枚の応募の中から、352名の方に当選して頂くことができました。

6月から委員会を重ね、昨年より減少したとはいえ相当数の応募葉書、それを賞ごとに仕分け、景品の発送準備と、大変でしたがやりがいのある仕事でした。

来年は「商店街の日」事業も8回目を迎えます。より多くのお客様に浸透するように委員会の皆さんと共に話し合いながら進めていきたいと思っております。

結びになりますが、実施にあたりまして、各商店街の加盟店様、事務局の皆様、多数の皆様のご協力、ご理解を賜り、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

スマホ^{de}スタンプin下通

下通繁栄会 桑本 知明

下通繁栄会では、商店街のさらなる魅力向上の為、商店街共通のスタンプサービス「スマホdeスタンプin下通」を平成30年11月～平成31年3月の日程で実施しています。

このサービスでは、お客様が街やお店に来られるたびに、お店に設置してある端末にスマホをかざすだけで、アプリ内にスタンプを貯める事ができます。スタンプが溜まると、12月と3月に下通で実施されるガラポン抽選会に参加することができ、そこで商店街の商品券や様々な協賛商品を獲得できるというものです。

実施にあたっては、蔦屋書店やTカードで有名なカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)やパナソニックからの全面的協力を頂いており、日本初の実験的なサービスとして、全国的にも注目度の高い取り組みとなっています。

また、当サービスでは、利用者の数に応じて、CCCより「熊本城復興募金」への募金がされる事となっており、お客様にとって「街を楽しむ」事が同時に「熊本城の復興」へ直接貢献できるイベントにもなっています。

下通りにお越しの際は、是非お試しください!



第12回 下通繁栄会 肥後のつりてまり



平成30年11月2日(金)～4日(日)開催

肥後のつりてまり 実行委員長 木下 修

今年度の“肥後のつりてまり”は360個の肥後てまりが市民の手によって作られ、累計して1,057人のご参加、3,114個のてまりが9基の櫓の中に飾られました。

絵柄は“重ね菱”でした。てまりワークショップには熊本YMCAさんから外国人留学生が参加。またフェイスブックやホームページを見た福岡県や鹿児島在住の人がわざわざワークショップに参加され貴重な体験をなされました。

下通繁栄会の事業再編のなかで、今年度より下通新天街が経費負担をすることになりました。今まで櫓の発注から運搬・保管まで分離発注をしていたのを、今年度より作業を一本化することにして熊本大洋工芸さんに委託。規模が年々拡大するなかで悩みの種でした運営力が格段と上がり、郷土の祭りとしての事業化の道筋が見えてきました。

展示期間の夜間養生シートも新装。つぎはぎしていた養生からスッキリと収めることが出来ました。ただ毎朝・毎夜、シートを畳む作業が労力の要る作業で大変でございました。

今年は外国人や県外の方も制作会に参加し貴重な経験をしてもらえたのは熊本の文化の継承という広がりから見ますと成功と言えます。次年度はラグビーワールドカップや世界女子ハンドボール選手権が熊本で開催される中で、つりてまりの展示も要望されており検討することになりそうです。



肥後てまりワークショップ
平成30年7月25日(水)
於 下通繁栄会事務所



下通deハロウィーン

平成30年10月28日(日)開催



下通四番街商店街振興組合 事業部長 土師 英嗣

地震後に客足が減った商店街に少しでも賑わいを取り戻したいというところからスタートした下通四番街のハロウィーン事業は昨年で3回目となりました。今回から「下通deハロウィーン」に名前を変更し、開催日も10月の最終日曜日にしました。

7月から会議を始め、下通四番街青年部が中心となって今回の事業を進めていきました。より多くの人にハロウィーンを楽しんで貰える事が目的ですが、下通に沢山の人が集客する事を考えています。その為にもより面白いコンテンツや映える仕掛けが必要だと思っております。今回はハロウィーンメイクやワークショップなどの体験型のブースに加え、バルーンやオブジェで装飾したフォトスポットを準備しました。去年もインスタブースはありましたが、迫力に欠けて思ったようにはインスタ映えをしてなかったので今年は強化したところ、歩行者は次々に足を止め、携帯を取り出し写真を撮っていました。SNSにも写真が投稿されており、狙い通りの結果になったと思っています。その他にもキッズのダンスパフォーマンスには沢山の人が集まり、会場を盛り上げてくれました。

今後は観光客や外国人などへのアプローチも考え、「ハロウィーンの週末には、下通に出かけよう!」となる仕掛けを考えていきたいと思っております。



子飼商店街シャッターアート大作戦



子飼繁栄会商店街(振) 副理事長 渡辺 正宏

昨年に続き、「子飼商店街シャッターアート大作戦第2弾」やっただくアーティストは4名様(左からLOBO51、BON、キヨタヒロシ、歓喜です)。

LOBO51さんには第1弾の作品である大黒天様の流れで七福神のコンプリートを目指し、恵比寿天様を描いていただきました!今回もまた細部にまで技が施されてて景気のいいゴールドをふんだんに使っていて、これまたなんとも見ているだけで笑顔になるようなファンキーな躍動感ある恵比寿天様が

が子飼商店街に出現しました!

BONさんには、今回はシャッターの持ち主の下村さんからオマツリの馬を描いて欲しいとのことでかなり迫力のある真っ赤な馬が出来ました!

キヨタヒロシさんの作品は今回の四作品の中でも一番大掛かりなシャッター4面に渡るスケールのでかい作品になりました!テーマは持ち主のたつての希望で“昭和の子供や遊びを描いて欲しい”というものでした。まさに商店街のレトロな雰囲気に完全にマッチする昭和の空気感たっぷりのほっこりする大作が完成しました!

歓喜さんはまさに歓喜節炸裂といった感じで彼の独特のタッチが余すところなく発揮されてまるで商店街入り口に小宇宙が出現したかのようです。歓喜さんの描かれた場所は横の壁にも描いて欲しいとリクエストしたので通りを歩いていても立体的な感じで見えます。

インスタ映え間違いなし!どうぞお越し下さい!



第23回

よかばい!

くまもと新魅力発見

10,000歩ご利益ウォーク

平成30年11月3日(土)開催

上通商栄会事業委員会 委員長 富永 裕二

今年で23回目の実施となりました「10,000歩ご利益ウォーク」。上通商栄会・水前寺観光商栄会・水前寺参道商店会・水前寺を考える会・新屋敷を考える会の5団体が主体となり実行委員会を立ち上げ、平成5年に熊本のウォークラリーの先駆けとしてスタートしたイベントです。(当時のタイトルは「10,000歩ウォークラリー」)

今年は商店街にぎわい復興支援事業の対象となり助成金が適用されたことで、告知に力を入れて参加者を募集。初めての試みで今までとは逆のコースで実施しました。上通アーケードを受付・スタート会場にして、山崎菅原神社、熊本城稲荷神社、熊本大神宮、坪井恵比須神社、手取天満宮、是法神社、熊野坐神社を廻り、水前寺参道を通り、出水神社をゴールとする8km、約10,000歩のコースに219組486名が参加しました。好天にも恵まれ、ゴール後は豪華賞品が当たる抽選会を行い、さらに水前寺参道ではラジオの生放送なども実施し、秋の1日を楽しく実施することができました。ゴール会場の出水神社は七五三の参拝客や海外からの観光客など相乗効果もあり、多くの来場者で賑わいました。

ファミリーで参加される方や20年前からご夫婦で参加している方など、毎年このイベントを楽しみにいらっっしゃる方が数多くいらっっしゃいます。

今後も熊本市で数多く開催されるイベントの一環として活性化につなげていければと思います。



第2回 恋旅 火の国神話の巡礼について



平成30年10月14日(日)開催

通町商店街振興組合 青年部部長 **橋口 大樹**

『愛は目で見るものではなく、心で見るもの。誠の恋をするものは、みな一目で恋をする』これはシェイクスピアの言葉です。

どうも!通町商店街振興組合 青年部部長 または恋の案内人こと橋口です。昨今では恋をする若者が少なくなつたと思いませんか?

「彼女はほしいけど、どう誘っていいかわからない…。」「いいなあって思う人はいるけど告白する勇気はない…」こんな言葉たちをよく耳にすることが多くあります。そんな皆様に愛のメスをいれるが如く通町商店街振興組合では婚活事業イベント『恋旅 火の国神話の巡礼』を開催させて頂きました!バスに乗って熊本の神社やパワースポットを巡り良縁を頂く。自力がダメなら神頼みだー!

神社にはそれぞれ場所によっても意味合いが違う。参拝の礼儀作法や歴史を学びながら、お目当の相手を探す恋の旅。第1回、2回共に参加人数は男性12名女性12名の計24名。

第1回は5組のカップルが成立♪2回目では2組が成立♪となりました。恋旅イェーイ♪



第7回 通町とれたたて軽トラ市について



平成30年10月28日(日)開催

通町商店街振興組合 副理事長 **三由 康裕**

第7回となった「通町とれたたて軽トラ市」。

初回は2016年9月。目的は熊本地震の復興支援でした。そのためまずは本物の軽トラ市を知るために日本最大級の宮崎県川南町フロントロン軽トラ市を視察する事からが始まりでした。

軽トラ市とは、通行止めした道路に軽トラックで新鮮な生鮮食品・惣菜・各地域の物産品・ハンドメイド雑貨などを販売する朝市です。

通町では、約260mの区間に約30台の軽トラックが並びます。これまでは春夏秋冬、各季節に1回目標に開催してきました。季節の旬のものを楽しんで頂きたいと思っております。

また、「通町とれたたて軽トラ市」の名物企画として『玉子のつかみ取り』を行っております。内容は1,000円以上お買い上げの方に1回チャレンジでピー玉を掴んでもらいその個数だけ玉子を贈呈します。毎回3,000個用意しますが、早い時は開始から50分ほどで全て無くなってしまいました。

そして開催するためにはスタッフの結束のみならず、市役所・警察・出店業者・地域住民の方々などの多大な協力があってこそこの軽トラ市となります。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

このイベントを続けていくことで通町と関わり愛着をもって頂く方々が増えていくことが本当の活性化になるのだと思っております。



八代妙見祭について

平成30年11月22日(木)～23日(金)開催

八代本町2丁目商店街振興組合 副理事長 **高岡 薫郎**

「八代妙見祭」は、毎年11月22日・23日に行われる八代神社(旧妙見宮)の祭礼です。神輿、神馬、獅子、花奴、笠鉦(9基)、亀蛇、飾馬など40もの多彩な出し物から構成される神幸行列が特徴です。

寛永十二年(1635年)当時八代城で隠居していた細川忠興は天井に自ら絵を描いた神輿を作らせ、祭礼の諸道具や装束などを寄進しました。忠興没後に八代城に入った松井氏も、祭礼を引き継ぎ神幸行列の整備をはかります。そして元禄時代以降、祭礼に獅子や笠鉦などの町衆がお供することが始まり、今日の神幸行列の原型が成立しました。

その後妙見祭は「長崎諏訪神社おくんち」「博多管崎宮放生会」と共に九州三大祭りといわれるほど盛況を呈する事となります。平成23年には国の重要無形文化財、平成28年には八代妙見祭を含む全国33の祭礼が「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録され、日本全国や最近では世界各地から観光客が来る様になりました。

私が所属する本町2丁目商店街では本町1丁目と共同で「本蝶蕪」という笠鉦で毎年祭りに参加しています。笠の上に「本」の字、「蝶(町)」「蕪(株)」をのせており、本町の株が上がる、つまり本町の商売繁盛を意味しています。

現在のアーケードが通っている場所は薩摩街道にあたり嘉永6年(1853年)將軍家に嫁ぐため江戸に上がった篤姫もこの道を通り本町に宿泊したという記録が残っています。もしかしたら篤姫も妙見祭を見学したかもしれませんね。

まだ妙見祭を見た事のない方がいらっしゃれば是非11月23日八代本町アーケードに見にいらっしゃって下さい。



妙見祭 子供警固



博物館展示



笠鉦展示 宮地小学校

八代港をとりまく環境について

八代本町2丁目商店街振興組合 副理事長 **庭本 正康**

国際クルーズ船の拠点として八代港の開発が決定した。10月5日、国土交通省と県、ロイヤルカリビアン・クルーズ社(米国RCL)がタッグを組み、2020年4月の完成予定で総事業費は124億円にも及ぶ

大規模な共同開発となることが発表されている。

国が世界最大の22万トン級客船が接岸可能な専用岸壁を、県が大規模駐車場を整備することになっているが、中でも旅客ターミナルの目玉となる「くまもんパーク」(仮)の整備がインバウンド誘客として期待されている。

RCLが開発費のうち30億円を負担することによって岸壁の優先利用の権利を有することになり、今後も安定したクルーズ船の寄港が見込まれるが、'18年は前年比で4割ほどの減少となってしまったことも事実である。一時期、過熱ぶりが取り沙汰された中国人客の爆買いも、今後は観光や体験といった「こと消費」に変わりつつあるとも聞く。

今でさえクルーズ船旅行客の取込み、対応に苦戦している状況にある我々商店主。八代港の開発が、単なる九州への玄関口の整備で終わることなく、少なからず足元である八代の商店街へのプラス効果となるよう今から準備を進めていきたいものである。

本年度、本町二丁目商店街では海外からの旅行客向けに多言語対応商店街マップを作成した。このマップは「商人図鑑」といって、商店主やその店で働く「ひと」を紹介した新しい試みの楽しいマップとなっている。インバウンド誘客のアイテムとして活躍することを期待している。



クアंटム・オブ・ザ・シーズ【平成27年7月23日(木)】

DMOやつしろの活動について



DMOやつしろ企画戦略課 課長

白石 壮一

DMOやつしろは、平成28年にそれまで八代市の観光物産協会として活動してきた「八代よかとこ宣伝隊」に法人格を持たせ、

それまで不可能であった信用取引、補助金・交付金事業の受け皿機能、収益事業への着手など地域住民や社会を巻き込んだ観光地域づくりに関する幅広い取り組みを行うために設立されました。

現在の主な取り組みとしては、公益的業務のほか、八代ならではの着地型観光商品「きびっとツアー」の造成・販売業務、大型クルーズ船ツアーバスの安全管理業務、そして八代市本町アーケードにオープンした「くまナンステーション」の運営を含む物産関連業務があります。また、九州国際スリーデーマーチ、やつしろ全国花火競技大会、ユネスコ無形文化遺産の八代妙見祭などイベントへの関わりもDMOやつしろの業務の一つです。

DMOやつしろは、八代市の観光地域づくりの扇の要の役割をはたす調整機関です。各エリア（中心市街地、日奈久、坂本・二見、千丁・鏡、東陽、泉・五家荘）と密接に関わりながら地域経済の活性化に寄与しなければなりません。そのためには八代の特色を活かした商品開発やプロモーションを行っていく必要があります。キーワードは「唯一性」と「ひねり」です。八代でしかできない体験の中で、他とは違う何かを提供していかなければと考えています。前述した「くまナンステーション」もオープン半年が過ぎ、今後はオリジナル商品の開発を進めていきます。ただ新商品を作り、販売していくだけではなく、その新商品の展開方法やお客様に飽きられないモノづくりを企画していきます。

2019年は熊本県内では多くのスポーツイベントが行われます。特に女子ハンドボール世界大会では八代市も会場になります。おそらく多くの外国の方々八代を訪問されることでしょう。そんな中で、いかに「八代」を印象付けられるか、知っていただくかを考えた取り組みを住民一体となって行わなければなりません。今後も様々な事業を通して、「八代」の活力源になりたいと思っています。



きびっとツアーで一番人気のイルカウォッチングツアー。ランチ付き「ウニ丼」や「ワカメしゃぶしゃぶ」など季節でランチの内容が変わります。



くまナンステーションの外観



きびっとツアーくまモンオリジナルトートバッグ作り体験@ユニックス。自分だけのくまモンバッグが作れます。



きびっとツアーピンチョス料理教室@本町・げんきや本舗。最後はワインをいただきながら^^



クルーズ船
乗客4,000名、熊本県庁3つ分の大きさです。

平成30年度九州・沖縄地区 消費税軽減税率対策窓口相談等事業 講習会・連絡会議開催

平成30年11月29日(木)ロイヤルチェスター佐賀において、平成30年度標記講習会・連絡会議が開催されました。佐賀県振連の喜多島理事長、全振連の坪井理事長の挨拶後、中小企業庁経営支援部商業課課長補佐の高橋達也様が「中小企業支援策及び消費税軽減税率制度等について」というテーマで講習会を開催していただき、その後、10年後の商店街について意見交換がありましたのでご紹介させていただきます。

◆10年後に栄えている商店街はどんな商店街なのでしょう。

福岡県>一人暮らしの高齢者が大幅に増えるため、高齢者が安全かつ快適に暮らせ、社会参加が生きがいになるようなまちづくりが進められる商店街だと思います。

長崎県>次の世代の人が育っているかこれが大きな問題だと思います。また商店街という感覚ではなくて外部の人をどう取り組むかです。

熊本県>強いリーダーシップのもと、商店街をコーディネートし、ビジョンを作成し、地域環境・時代の変化に対応できる企業化された商店街しか生き残れないと思います。

大分県>子育て支援に特化している商店街、娯楽安らぎ寛ぎを提供できる商店街など、地域社会に何らかの役割を担っていることが必要だと思います。

宮崎県>店主が店の上に住みお客とのコミュニケーションが図れる商店街が10年後も栄えていると思います。また、店に来たお客さんと会話し、きちんと接客ができる商店街は生き残ると思う。

鹿児島県>生き残るためには、顧客のニーズにあう商品をきちんと揃えておくことです。プロならではの商品知識を持つ個店が必要。また、これからは高齢者をターゲットに商店街の活動に福祉という分野が入ってくると思います。

沖縄県>観光客の増加は著しいけど、商店街は戸惑いを感じています。最近の流行りの言葉で観光公害という言葉聞くようになりました。地元県人が集える商店街がベストではないかと思っています。

佐賀県>高齢者や子育て世代、子供たちが集まってくるような商店街を目指し、小学校など学校との連携をしながら、地域の人々が暮らしやすい環境を提供していくことが大切だと思います。



次ページへ➡

◆10年後も栄えている商店街になるためのツール、考え方、手段があればお願いします。

福岡県>サークル活動みたいなものができるのと商店街に足を運んでくれるのではないのでしょうか。補助金に頼らず、商店街の独自財源を持てば維持管理費に充てることも出来るし、後継者も増えていくのではないのでしょうか。

長崎県>地元自治体、関係機関との連携強化を図り、商店街のパイプ役になればいいと思います。また地域住民、自治体、まちづくり会社、商店主、NPO法人などのサポート役として協働し、コミュニティ空間の役割を果たすことだと思います。

熊本県>日頃から意識を持って、学校、行政等と一緒にイベントにも取り込むことが大事だと思います。地域と一緒にやっていくためには連携が大事。街を知ってもらう。信頼関係。努力して売り上げに繋げることが大事だと思います。

大分県>お店の前に椅子を置いたりして、地元の高齢者に来てもらえるような魅力のある場所を提供する。

宮崎県>これからの中心商店街は物売りだけでいいのか。人とコミュニケーションがとれる商店。人に癒しを与えられる商店街。商店街の中に公園のある景観づくり。

鹿児島県>商店街とは住んでいる人が思い出の残る場所として後継者に伝える。今後は百貨店とコラボしていかなければならない。個店が高齢者に対して隠れサービスをして地域を維持していくことだと思います。

沖縄県>地元客、県内客にとっても買い物やエンターテイメントが楽しめる商店街。楽しさを追及することが大事だと思います。

佐賀県>小学校・中学校・高校など、学校とも連携しながら地域の人々が暮らしやすい環境を提供していくことが大切だと思います。

健康商店街 健康フェア&よかもん市

平成30年11月17日(土)~18日(日)開催



健康商店街振興組合 理事長 有働 栄一

健康商店街では平成21年に地域商店街活性化法の認定を受け、これまで医療機関と連携した「医、商連携による次世代型まちづくり」を推進してきました。

それを象徴するのが秋に行われる「健康フェア&よかもん市」です。

平成30年は11月17日、18日の二日間行われました。その中では市医師会や歯科医師会、看護協会他のご協力の下、無料の健康相談コーナーを設けました。また高齢者が健康を維持するために必要な筋肉をつける「貯筋運動」の講習会を、提唱者である鹿屋体育大学名誉教授川西正志氏の指導の下、行っております。その他にも、隣接する泉ヶ丘校区の「子どもみこし祭り」とコラボしたり、今年度は警察音楽隊や落語、ダンスなどのステージイベントやワゴンセールなど盛りだくさんの内容で開催しました。



紹介
店舗

麩屋氏助 (ふやうじすけ)

◆店主: 槻木 見千考



場 所 : 熊本市中央区西子飼町2-14
 電話番号 : 096-345-7314
 営業時間 : 10:00~18:00
 定 休 日 : 日曜・祝日

子飼商店街(振)事務局 **井上 紀代美**

子飼商店街の中ほどに位置する「麩屋氏助」さん。お麩料理という敷居が高いと思われるが、若夫婦で切り盛りされていて気軽に入れるお店です。お勧めは大徳寺うどん!お麩が入っています。是非一度足を運んでください。



い
つ
て
み
な
つ
せ
!

★次回は新市街商店街(振)事務局が紹介します

これかばい!

子ども達の笑顔が絶えない場所を作りたいと思ったのがきっかけでキャンディキャンディを出店しました。

キャンディキャンディのオリジナルブランド(MORlyumi)をはじめ海外輸入の子供服、大人服など個性溢れる商品を取り揃えております。

(MORlyumi)ブランドは着る人見る人の気持ちがHAPPYになれるような服をコンセプトに1点1点気持ちを込めて作っています。

またオーダーメイドにも対応していますので自分の好きなデザイン、サイズに合わせて『世界に1つだけの洋服』を作れます。

キャンディキャンディ

〒861-4115 熊本市南区川尻5丁目7-100

◆電話 / 096-357-3160

◆営業時間 / 10:30~18:00

◆定休日 / 火曜日



今回のお店

キャンディキャンディ

店長: 中島 裕美子



★次回は牛深商店街(振)伊藤青果店さんが紹介します

お元気であか 商店街



今回の1枚

新市街
子ども商店街
10月7日(日)開催

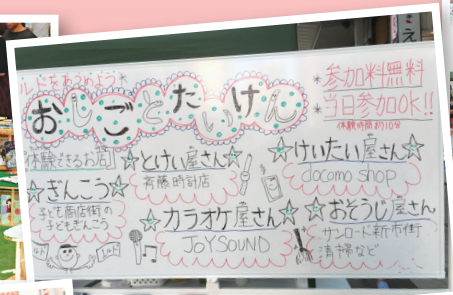


新市街商店街振興組合青年部

安田 征司

サンロード新市街商店街振興組合では、青年部や組合店の方々を中心に月に1度商店街活性化にむけたワークショップを開催しています。その中で商店街のコンセプトを「時間を遊ぶ」と設定し、親子連れや子どもたちを対象としたイベントを積極的に行っています。

10月には今年で3回目となる「子ども商店街」を開催しました。子どもたちが店の店主となり、自ら持ち寄った商品を仮想通貨「ルド」を利用して売買をします。実際に商品を買って得られた「ルド」は、食べ物に変えたり、体験コーナーで遊べたり福引き所で景品に変えたりすることができるイベントです。当日の子どもたちは、日ごろなかなか経験することができない商いの楽しさやものが売れた時の達成感を感じながら生き生きと活動していました。



発行

熊本県商店街振興組合連合会 熊本市中央区練兵町62 第2ロータリービル3F

TEL.096-353-4666 FAX.096-353-4577

E-mail info@kumanet.jp URL http://www.kumanet.jp/

